

# 2019 年駒井ハルテック和歌山工場と高野山見学

第一コンサルタント 右城 猛

## 1. まえがき

高知県橋梁会では毎年、7月に現場見学会を行っている。2年に1回は1泊2日の旅行。温泉に泊まり会員の親睦を深めることにしている。

昨年、1泊2日で岡山・広島(宮島泊)を計画していたが7月豪雨災害で中止した。このため今年は7月12日(金)~13日(土)、1泊2日で駒井ハルテック和歌山工場と高野山を見学することになった。

参加者は18名。第一コンサルタントからは、私を含め4名が参加した。



第一コンサルタント

見学先



バスで挨拶する吉田副会長



旅行会社は近畿ツーリスト。美人添乗員は井澤美咲さん。

## 2. 高知から和歌山へ

第一コンサルタントを8時に出発。高速高知道、徳島道を通り徳島港へ。ここからフェリーで和歌山港へ行く。

フェリーは11時出港の予定であったが、濃霧の影響で30分遅れの11時30分出港。

和歌山港から由良町にある駒井ハルテック和歌山工場に行くまでの間に、バスの運転手はスピードを出して時間の遅れを挽回するよう努めてくれた。そのお陰で予定より5分遅れの14時35分に着くことができた。



フェリーの中で昼食の弁当を食べる

## 3. 駒井ハルテック和歌山工場の見学

駒井ハルテックは、建築の高層ビルが得意な駒井鐵工所と橋梁が得意な春本鐵工所が合併し、2001年に誕生した従業員が約500名の会社で、和歌山工場、千葉の富津工場、仙台に東北工場を持っている。

これまでに明石海峡大橋、東京スカイツリーを製作した実績を有している。現在は、高知南国道路の高架橋、東京オリンピック国立競技場の屋根部の製作を担当している。

駒井ハルテック和歌山工場に着くと、理事で和歌山工場長の直江康司(技術士、土木鋼構造診断士、コンクリート診断士)氏、和歌山工場副工場長の村上佳市氏、理事で橋梁営業技術本部副

本部長の田中伸和氏、橋梁営業技術本部大阪営業課課長の林義則氏らが出迎えてくれた。

村上佳市氏から駒井ハルテックの概要説明を受けた後、箱桁橋の3D図面、BIMで作られた国立競技場の屋根部の図面を紹介してもらった。

2次元データで作られたコンサルの図面を専門業者に発注して3Dデータにしてもらい、干渉する部材がないかをどうかチェックしているとのことであった。

国立競技場の図面は成果品がBIMで作成されていたので、製作時には2次元の製作図面に直しているとのことであった。

その後、ヴァーチャルリアリティを体験させていただいた。架設工事の問題点を発見できるようなのである。

工場は村上氏と直江氏の案内で、NCガントリー孔明け機、縦リブ組立装置などを見学させていただいた。



ヴァーチャルリアリティを体験



和歌山工場の内部。建物は440mある。



ヘッド歪み矯正装置



高知南国道路の高須工区で施行される橋桁



最後に直江工場長、村上副工場長を交えて記念撮影

#### 4. 龍神温泉

宿泊は龍神温泉の「季楽里龍神(きらりりゅうじん)」。山間の小さな温泉地にある旅館であるが、建物はRC構造の地下1階、地上4階建て。元々は国民宿舎であったが、田辺市が購入して経営しているとのことであった。

泉質はナトリウム炭酸水素塩。湯の川温泉、川中温泉と並ぶ日本三美人の湯。湯に浸かると肌がヌルヌルする。



季楽里龍神の銭湯(季楽里龍神 HP による)



食事の後で記念撮影。



出発前にも記念撮影

## 5. 高野山

### 奥之院参道周辺の墓地

高野山は、周囲を 1,000m 級の山々に囲まれた標高約 800m の平坦地に、真言宗の開祖弘法大師空海(774 年～835 年)が、約 1200 年前の 816 年に密教の道場として開いた場所である。

竜神温泉から 49km の距離であるが、曲がりくねった山道であるため 1 時間半を要した。

中の橋駐車場から参道を通って奥之院へ行く。参道の両側には樹齢 700 年の杉がそびえ、20 万基を超える墓石、祈念碑、忠霊碑が立ち並んでいる。

ロケットの模型を飾った新明和工業、東洋ゴム工業、ヤクルト、日産自動車、小松製作所、キリングroup、アジア航測など日本を代表する企業の慰霊碑や供養塔があった。

また、織田信長、豊臣家、徳川家、明智光秀、石田三成、伊達政宗、武田信玄・勝頼、上杉謙信など戦国武将の墓もある。

昼食をとった一の橋案内所の近くには、「散る桜 残る桜も 散る桜」と刻まれた海軍第 14 期飛行専修予備学生戦没者慰霊塔があり、その側には鶴田浩二の墓があった。



奥之院参道



新明和工業の慰霊碑



日産自動車の慰霊碑



織田信長墓所



アジア航測グループの慰霊碑



八代将軍徳川吉宗の墓



豊臣秀吉墓所



松山 松平久松の墓所



豊臣秀吉墓所



上杉謙信の墓所

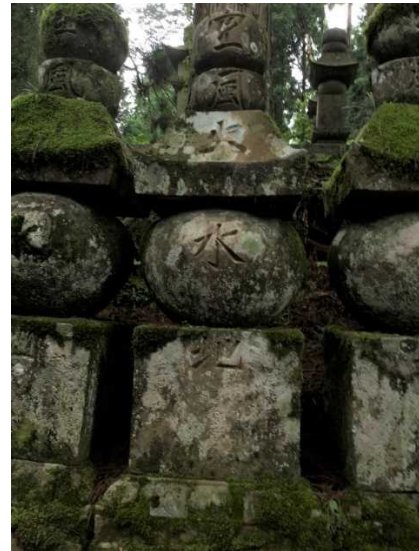


墓石に「空風火水地」の文字が刻まれた五輪塔が沢山見られた。

全ては空風火水地の五大要素から成り立っているという考え方である。

五輪塔は5つのパーツから構成されている。上から「空(宝珠)」「風(半月)」「火(三角)」「水(丸)」「地(四角)」となり、宇宙(世界)を表現している。

五輪塔には漢字で刻まれたものもあるが、多くはサンスクリット語で書かれていた。



海軍第14期飛行専修予備学生戦没者慰霊塔

### 奥之院

墓地エリアを通過して奥へ進むと、御廟橋（ごびょうのばし）があった。この橋を超えると奥之院で、写真撮影は禁止されている。

奥之院とは、弘法大師が入定された場所で、奥にある御廟では現在も弘法大師が瞑想を続けていると言われていた。弘法大師は62歳のときに奥之院で永遠の悟りの世界に入り、現在でも生きていと信じられている。



鶴田浩二の墓



御廟橋



御廟橋を渡る前に4人で記念撮影

### 生身供

御供所(ごくしょ)と呼ばれる厨房で作った料理を地蔵尊に味見していただいた後、弘法大師のいる御廟へ運ばれる。これは生身供(しょうじんぐ)といい、毎日6時と10時半の2回欠かすことなく行われている。

タイミング良く生身供に遭遇した。



嘗試地蔵(しょうじ地蔵)



料理を奥之院の御廟に運ぶ僧侶

### 金剛峯寺



金剛峯寺は高野山全体の宗務を行う場所。



奥之院の霊木「高野杉」。樹高57m、直径2.87m。



三鈷杵(さんこしよ)



茶を飲みながら尼僧から高野山の説明を聞く



蟠龍庭(ばんりゅうてい)。広さ2340平方メートルの石庭。蟠龍とは天に昇らず地上でどくろを巻、潜んでいる龍のこと。

### 壇上加藍

高野山二大聖地の一つ。弘法大師が真言密教を教えるために整備した道場。



六角経蔵



三鈷の松



真言密教の教えを体現する象徴として建てられた根本大塔

## 6. あとがき

心配された天気にも恵まれ、楽しい有意義な見学旅行となった。

駒井ハルテック和歌山工場の皆様には、貴重な時間を割いて我々のために懇切丁寧な説明をしていただいた。近畿ツーリストの井澤添乗員、とさでん交通の運転手の方にもお世話になった。

第一コンサルタンツからは私以外に橋梁構造課の中平聖士君、三本高義君、吉田萌君が参加した。3人は、いずれも今年入社したばかりである。4人が同じ部屋で一夜を共にし、じっくり話す時間を持てたことは有意義であった。

私が朝風呂に浸かっている間に中平君は、日高川に架かっている吊り橋を視察していた。事前に高所特殊技術の社員から、龍神温泉の近くに珍しい吊り橋があるという情報得ていたようである。彼には橋梁屋としてのプロ意識を感じた。きっと立派な技術者に成長するだろう。

三本君、吉田君は資格取得に対する意欲がとても高いと感じた。

3人は、勉学や仕事に対して自ら燃える情熱を持っている。彼らが周囲の同僚や先輩、後輩たちに火を付けてくれれば、技術士補、RCCM、技術士などの資格者が次々と誕生する。第一コンサルタンツは一気に成長する。将来は明るいと思った。

2019年7月14日